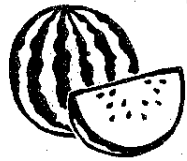


よむよむひろば

家庭教



学校図書館だより

さいたま市立上落谷小学校図書館発行 令和3年7・8月号掲載

明日から楽しい夏休みですね。たっぷり時間のある夏休みは、ゆっくり読書を楽しむ良い機会です。今年もコロナ禍で思い通りの夏休みにはならないかもしれませんが、そんなときこそ工夫次第で一味違う思い出をつくることできるかもしれません。ヒントになる本を探しに、市立図書館へ行ってみたいですね。

学校図書館だよりで紹介した本の情報は、『本の題名』、著者名、出版社名、(学校図書館の本の分類番号)の順番で載せています。

夏休みに借りた本について

- ◆本を大切にしましょう。(ぬらしたり、汚したり、破ったりしないでください。)
- ◆本をなくさないように気を付けましょう。(長いお休みの間にどこかにしまいこんで、行方不明にならないようにしてください。)
- ◆学校図書館の本を市立図書館へ返さないように気を付けましょう。

課題図書

第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書は、各学年でクラスごとに選んで見てもらいました。購入する場合の参考にしてください。(本の題名はHPに掲載されている夏休みの自由課題の応募用紙に載っています。)

<オリンピック・パラリンピックが目指すもの>

間もなくオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックは、スポーツを通して心身のバランスをよく鍛え、フェアに競技すると共に、異なる文化を理解しながら協力して世界の平和につなげていこうという考えが掲げられています。この考え方にぴったりの絵本をご紹介します。

『せかいのひとびと』スピアー/文・絵 理論社(E)

表から裏に続く表紙には色とりどりの民族衣装を着た様々な国の若者男女が細やかなイラストでびっしりと描かれていて、まずそれを眺めるだけでも楽しい。ページをめくると肌の色、服装、家、食べ物、宗教、言葉などなど、地球上の人々の文化や一人一人の違いや共通することがたくさんイラストでわかりやすく描かれています。

『まるいちきゅうのまるいちにち』安野光雅/編 金話屋(E)

ある年の1月1日ロンドンのグリニッジ標準時0時にあわせて始まる、アメリカ、イギリス、ロシア、日本、ブラジル、ケニア、中国、オーストラリア、の子どもたちの一日が、時間を追って描かれています。同じ1月1日でも国が違うと時間も季節も過ごし方も全く違うことがよくわかります。安野さんとこの8か国の絵本作家の合作です。

< 平和を考える本 >

世界では今も戦争をしている国があります。かつて日本でも戦争をしていた時代がありました。8月には戦争を振り返り、戦争で亡くなった方々を慰める日が続きます。8月6日の広島原爆慰霊の日、8月9日の長崎原爆慰霊の日、8月15日の終戦記念日。7月のテーマ展示では「平和を考える本」として戦争や平和がテーマの本を展示しました。その中から一部を紹介しします。(＊のついている本は続きのお話があります。)この夏は平和について考えてみませんか。

*『せかいいちうつくしいぼくの村』水林豊/作・絵 ポプラ社(E)

ヤモは今日はじめてまちへ果物を売りに行きます。戦争に行っている兄さんの代わりに父さんを手伝うのです。昔には花が咲き乱れ、夏には果物がたわわに実るのどかなアフガニスタンの農村。世界一美しいその村は、戦争で破壊され、今はもうありません。

『猫は生きている』早乙女蘭元/作 田島征三/絵 理論社(913)

昭和20年、東京下町で盲男はお母さんと妹の3人で、チ子と四人で暮らしていました。盲男の家の縁の下に稲妻という母猫が4匹の子猫と一緒に住み着きました。人間も猫も生きるのに必死な毎日ですが、3月10日の夜、東京を大空襲が襲います。

『パンキン』令丈ヒロ子/作 講談社(913)

夏休みに入ると同じ5年生で、いとこのたくみが東京から大阪の田辺にやってきました。長崎に投下された原子爆弾とほぼ同じ形をした、核物質を積んでいない模擬原爆(パンキン爆弾)のことを調べにきたのです。地元のことなのによく知らなかったヒロカは、一緒に自由研究として取り組むことになりましたが……。

『ぼくは風船爆弾』高橋光子/作 潮出版社(913)

風船爆弾を知っていますか?第二次世界大戦末期、日本が女学生を動員して作っていた秘密兵器です。直径10メートルにもなる大きな風球に爆弾を付けて偏西風に乗せて、アメリカ本土に飛ばしていたのでした。

『花あかりともして』服部千春/著 出版ワークス(913)

眺めて楽しむ花を育てることはいけないことだ、といわれた時代がありました。戦争中には食べられるイモやカボチャを植えるようにいわれたのです。

しら調べものしたら……

自由研究などで調べものをしたときは、調べた本の記録をとりましょう。(インターネットで調べたときも、ホームページやHPのURLの記録をとりましょう。)
後でまたその本を見たい、調べたいと思ったときにすぐに本を探すことができます。

- ① 本の題名
- ② 著者名
- ③ 出版社
- ④ 出版年

この4つをきちんと記録することを習慣にしましょう。
中学生、高校生、大学生、そして大人になっても役に立ちますよ。

